

2020年3月期

IR説明資料

株式会社 極 洋 (証券コード: 1301)

<https://www.kyokuyo.co.jp>

食卓に、海のおいしさと、おどろきを。



<https://www.seamarche.jp>



目次



2020年3月期の概況

- ・当社を取りまく環境 3ページ
- ・トピックス 4ページ

2020年3月期 決算概要

- ・計算書類 6～14ページ
- ・事業セグメント別の状況 15～21ページ

2021年3月期 施策及び業績予想

- ・事業セグメント別の施策 23～24ページ
- ・業績予想 25ページ
- ・設備投資及び減価償却費 26ページ



2020年3月期の概況



当社を取りまく環境



経済・社会情勢

- 新型コロナウイルス感染症の影響で先行き不透明な状況にある
- 感染症が内外経済をさらに下振れさせるリスクがある
- 金融資本市場の変動などの影響を注視する必要がある

水産・食品業界

- 人手不足による労働・物流コストの増加
- 世界的な水産物需要の増大による買付コストの上昇
- 食の安心・安全に対する高い関心
- 緊急事態宣言による国内マーケットの変化

□ 宮城県塩釜市に事業所内保育施設を開園 【4月】

- ▶ 極洋食品(株)塩釜工場に「キョクヨーハピネス保育園」を開園
 - 所在地:宮城県塩釜市新浜町
 - 対象:0歳児(生後2ヵ月から)~5歳児

□ KYOKUYO GLOBAL SEAFOODS Co.,Ltd.を設立 【4月】

- ▶ 順調に販売が伸長している煮魚・焼き魚製品の新規生産拠点
 - 所在地:タイ王国
 - 資本金:200百万バーツ

□ (株)イチヤママル長谷川水産が当社グループへ加入 【6月】

- ▶ 当社が資本参加(持分20%)
- ▶ 所在地:北海道二海郡八雲町
- ▶ 営業内容:北海道産魚介類の加工販売及び卸売市場の仲卸業務

□ (有)クロシオ水産が当社グループへ加入 【9月】

- ▶ 当社が資本参加(持分70%)し、株式会社化
- ▶ 所在地:高知県幡多郡大月町
- ▶ 営業内容:真鯛を主体とした水産物の養殖事業及び販売業務



2020年3月期 決算概要



計算書類



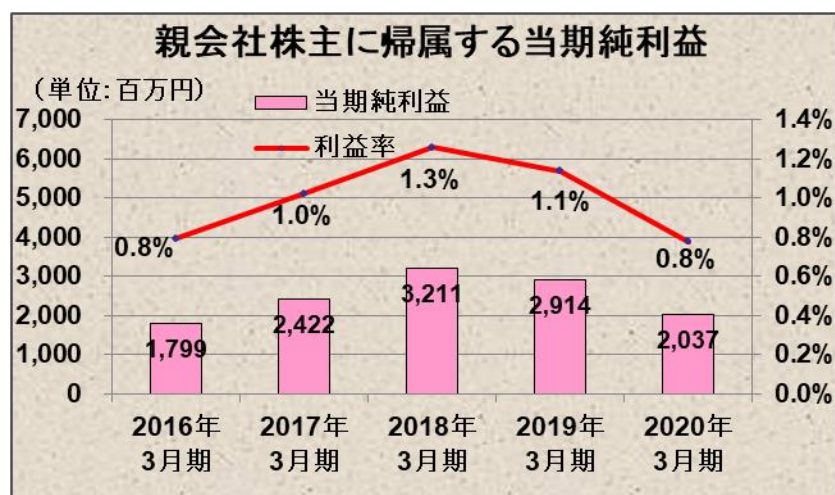
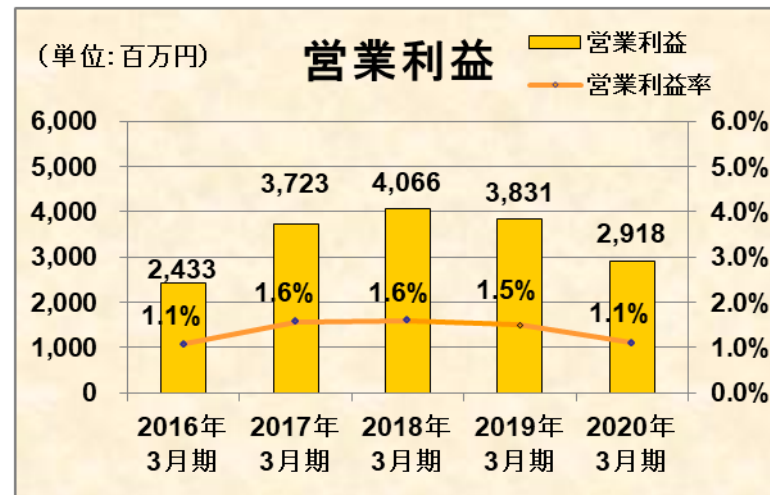
1. 連結損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前期比		当初予想	修正予想
	連結会計年度		増減金額	増減比率	連結会計年度	連結会計年度
	2019年3月期	2020年3月期			2020年3月期	2020年3月期
売上高	256,151	262,519	6,368	2.5%	286,000	280,000
営業利益	3,831	2,918	△912	△23.8%	5,500	4,000
営業外収益	1,123	1,208	84	—	—	—
営業外費用	520	518	△2	—	—	—
経常利益	4,434	3,608	△826	△18.6%	5,400	4,500
特別利益	125	68	△57	—	—	—
特別損失	570	664	93	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,914	2,037	△877	△30.1%	3,800	3,000

- ・当初予想：2019年5月13日に発表した2020年3月期業績予想数値
- ・修正予想：2019年11月5日に発表した2020年3月期業績修正予想数値
- ・売上高：物流サービスを除く全てのセグメントで増収となり、前期比63億円の増収
- ・営業利益：冷凍食品、常温食品が増益となったが、水産商事、鰹・鮪が減益となり、前期比9億円の減益

2. 連結業績の推移





計算書類



3. 個別損益計算書

(単位:百万円)

	実績		前期比	
	2019年3月期	2020年3月期	(増減金額)	(増減比率)
売上高	250,680	257,599	6,918	2.8%
営業利益	2,645	2,253	△391	△14.8%
経常利益	2,777	2,276	△500	△18.0%
当期純利益	1,551	1,119	△432	△27.9%

- ・売上高：すべてのセグメントで伸長し、前期比69億円の増収
- ・営業利益：冷凍食品、常温食品が増益となったが、水産商事、鰹・鮪が減益となり、前期比4億円の減益



計算書類



4. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2019年 3月末	2020年 3月末	前期比		2019年 3月末	2020年 3月末	前期比
資産の部				負債の部			
流動資産	89,425	85,251	△4,173	流動負債	54,730	54,818	87
受取手形及び売掛金	35,540	33,444	△2,096	内、短期借入金(含むCP)	34,469	35,594	1,124
商品及び製品	34,458	31,409	△3,048	固定負債	27,946	23,773	△4,173
仕掛品	3,049	3,885	836	内、長期借入金	23,193	19,124	△4,069
原材料及び貯蔵品	7,439	5,749	△1,690	負債合計	82,677	78,591	△4,085
その他	8,937	10,763	1,826	純資産の部			
固定資産	25,248	25,932	684	株主資本	31,346	32,396	1,050
有形固定資産	14,981	15,976	994	その他の包括利益累計額	475	321	△153
無形固定資産	549	541	△7	非支配株主持分	174	△125	△300
投資その他の資産	9,717	9,414	△303	純資産合計	31,996	32,593	596
資産合計	114,673	111,184	△3,489	負債及び純資産合計	114,673	111,184	△3,489



計算書類

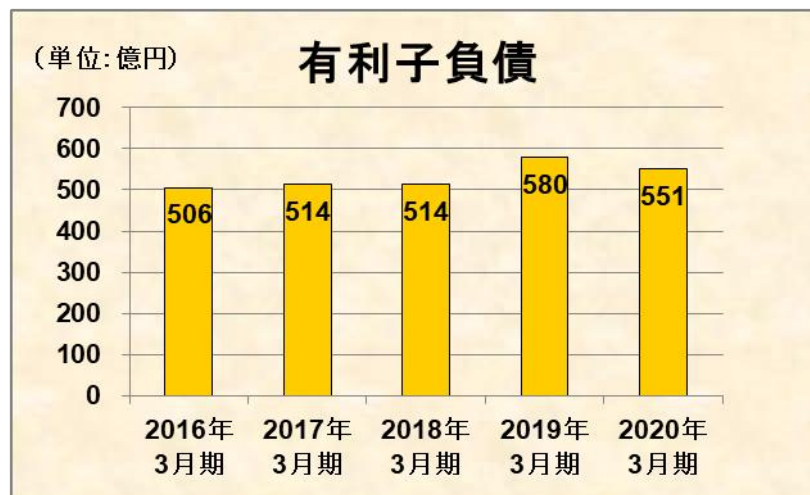
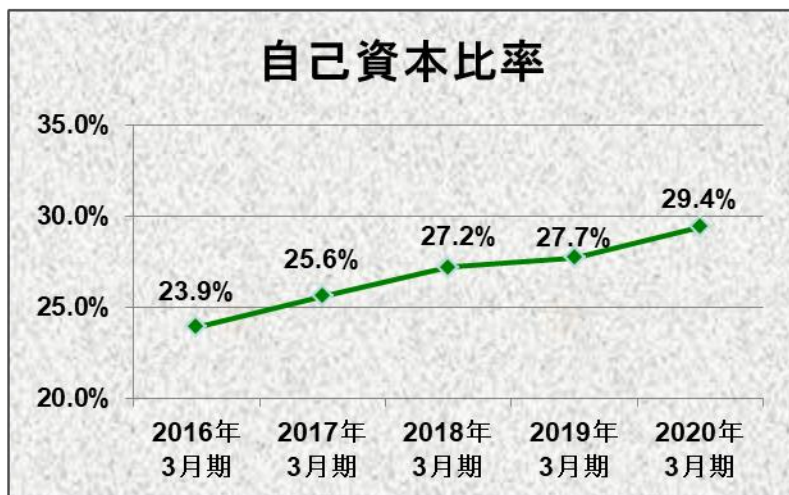
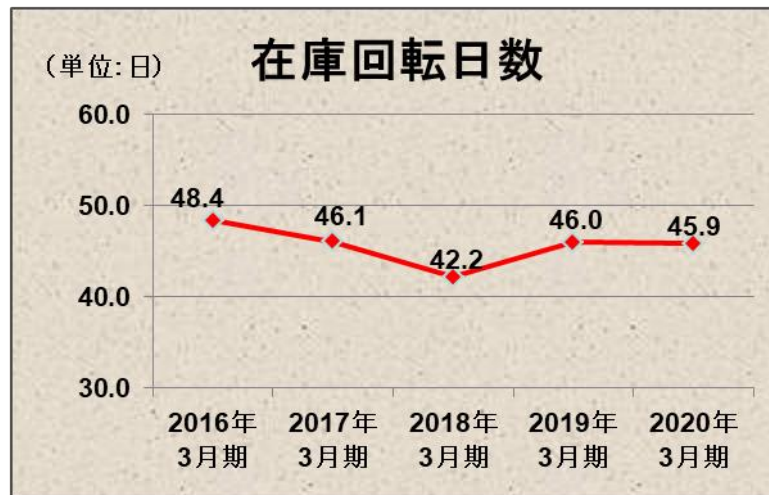


5. 連結キャッシュ・フロー計算書

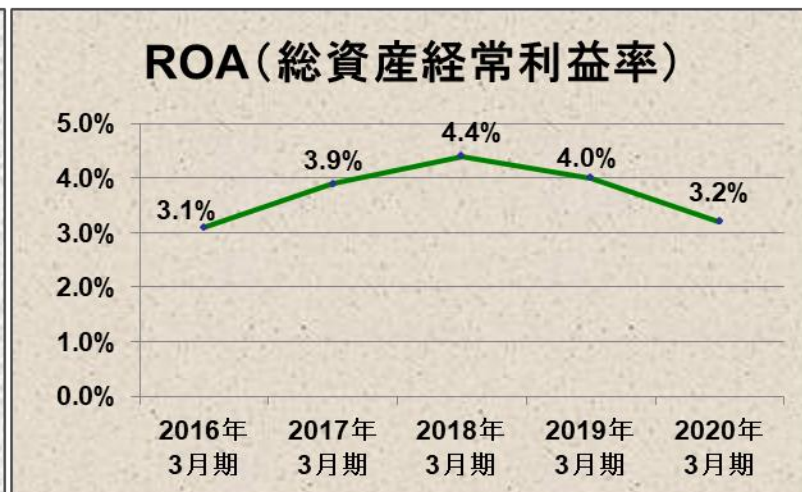
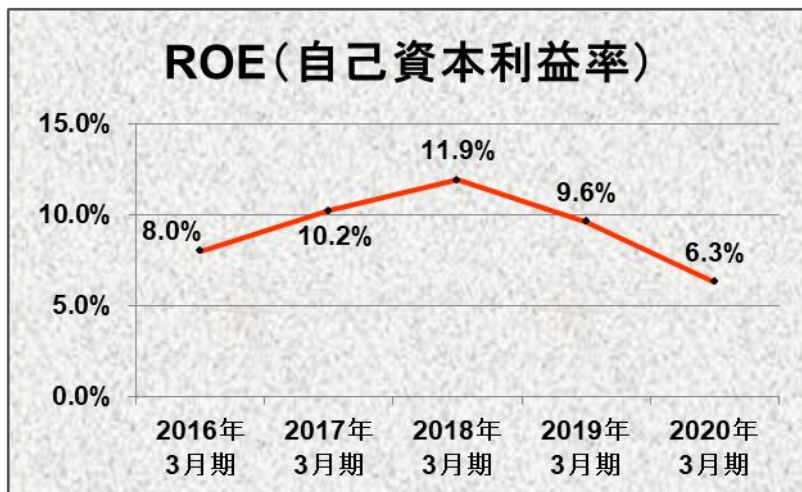
(単位:百万円)

		連結会計年度		
		2019年3月期	2020年3月期	前期比
営業活動による キャッシュ・フロー	税金等調整前当期純利益	3,989	3,012	△977
	減価償却費	1,882	1,904	22
	売上債権の増減(△は増加)	△2,777	2,071	4,848
	たな卸資産の増減(△は増加)	△5,046	4,668	9,714
	仕入債務の増減(△は減少)	△1,415	△1,401	14
	その他	△751	△845	△93
	小計	△4,118	9,410	13,529
投資活動による キャッシュ・フロー	固定資産の取得	△2,064	△2,948	△884
	その他	△430	17	447
	小計	△2,494	△2,931	△436
財務活動による キャッシュ・フロー	短期借入金の増減(△は減少)	5,130	△5,682	△10,813
	長期借入れの増減(△は減少)	1,658	2,016	358
	その他	△831	△1,151	△319
	小計	5,958	△4,817	△10,775

6. 連結財務指標の推移



7. 連結経営指標の推移





計算書類

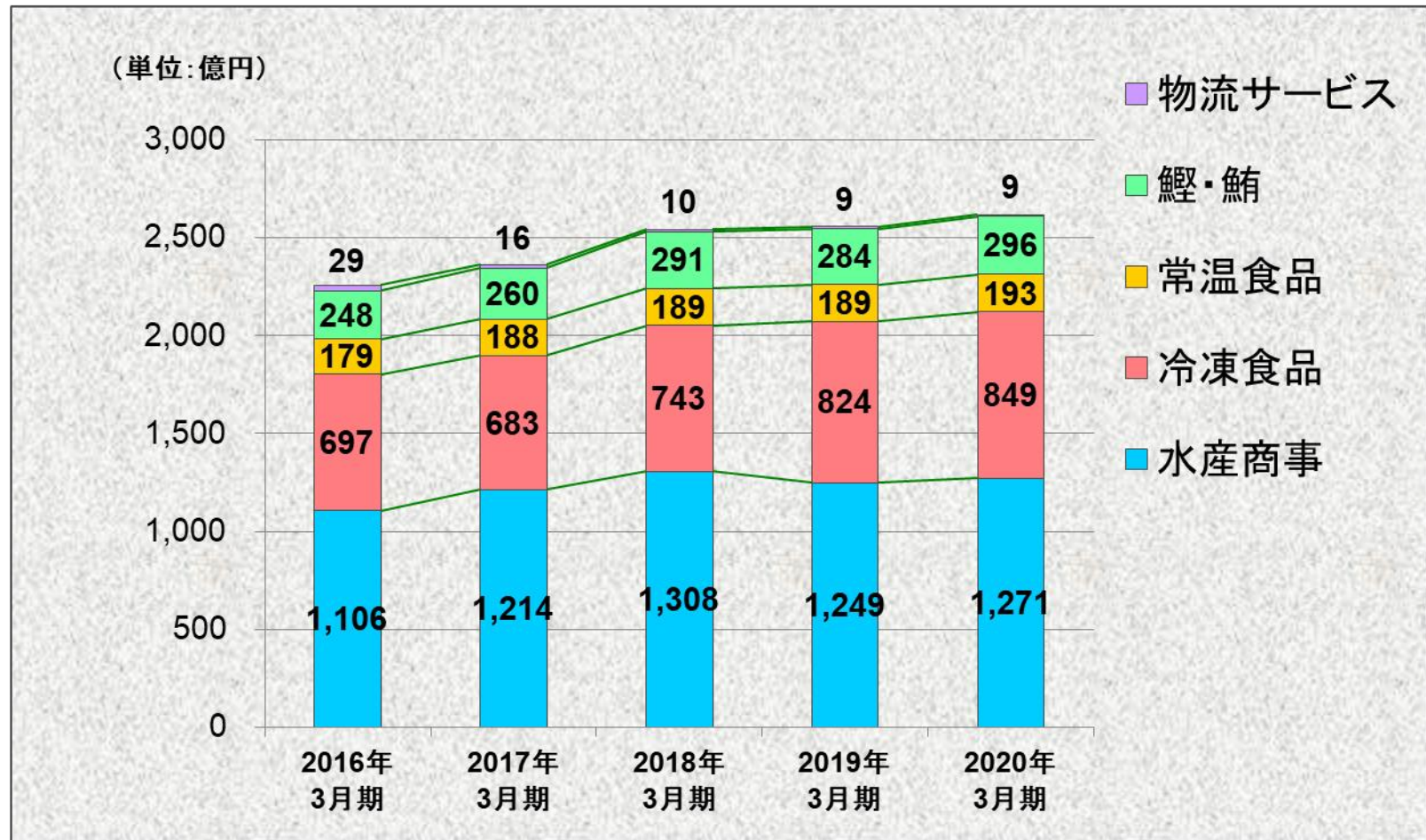


8. 事業セグメント別 売上高及びセグメント利益〈連結〉

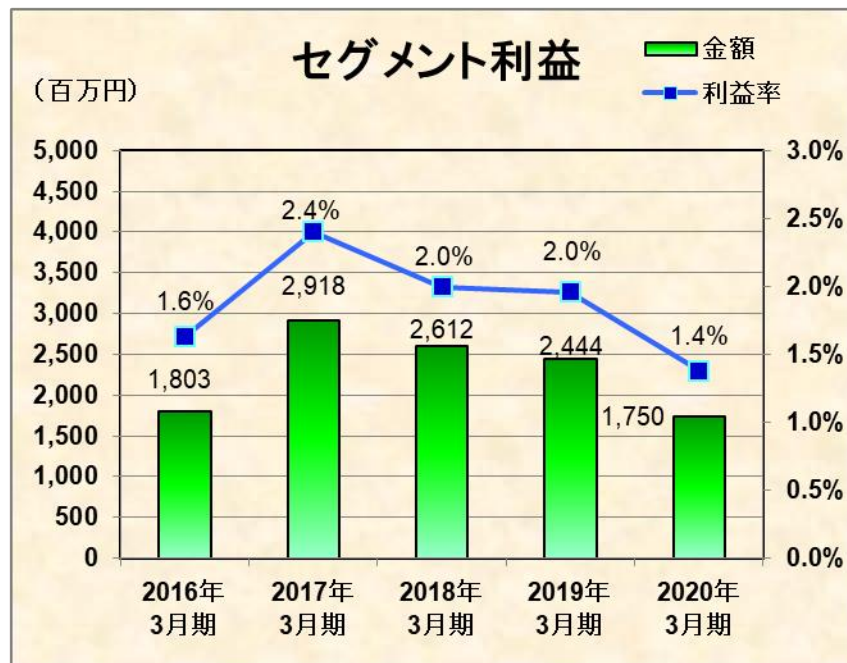
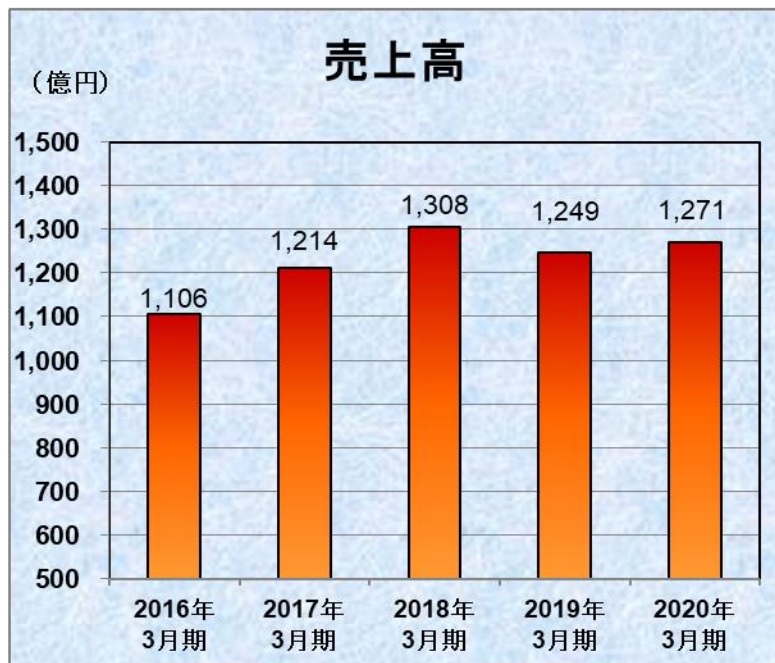
(単位:百万円)

	売上高			セグメント利益		
	連結会計年度		前期比	連結会計年度		前期比
	2019年3月期	2020年3月期		2019年3月期	2020年3月期	
水産商事	124,952	127,104	2,151	2,444	1,750	△694
冷凍食品	82,405	84,946	2,540	932	949	17
常温食品	18,976	19,370	393	482	705	223
鰹・鮪	28,442	29,658	1,215	737	213	△523
物流サービス	994	988	△6	265	315	49
その他	378	452	73	△1,030	△1,015	14
合計	256,151	262,519	6,368	3,831	2,918	△912

9. 事業セグメント別 売上高比較<連結>



1. 水産商事事業<連結>…水産物の買付及び販売



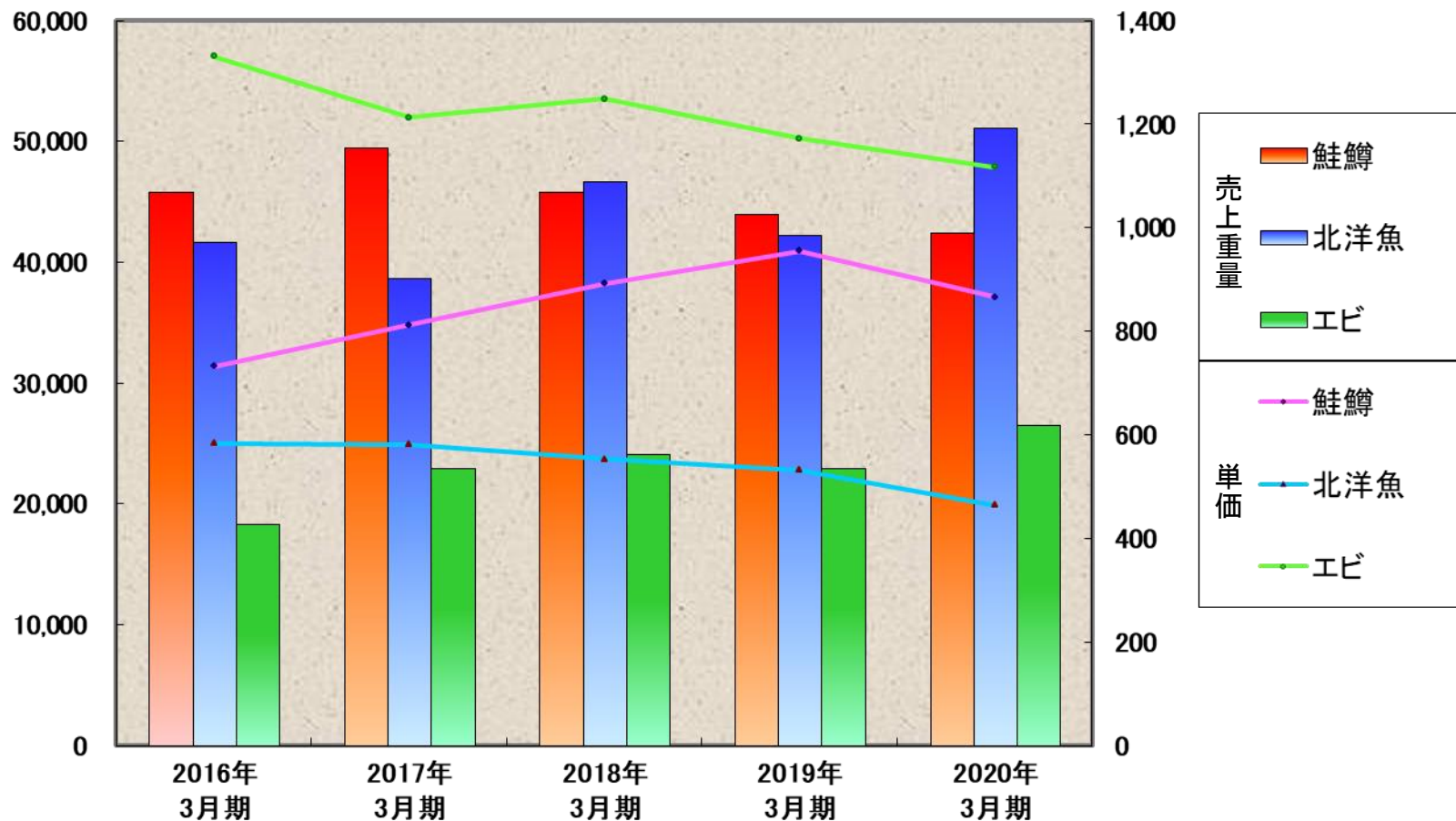
【当期の状況】

- 増収減益
 - エビ、北洋魚などの取り扱いが伸長
 - イワシ、ホタテなどの輸出や米国子会社による北米販売が堅調に推移
 - 紅鮭、チリ銀鮭の市況下落により鮭鱒で苦戦

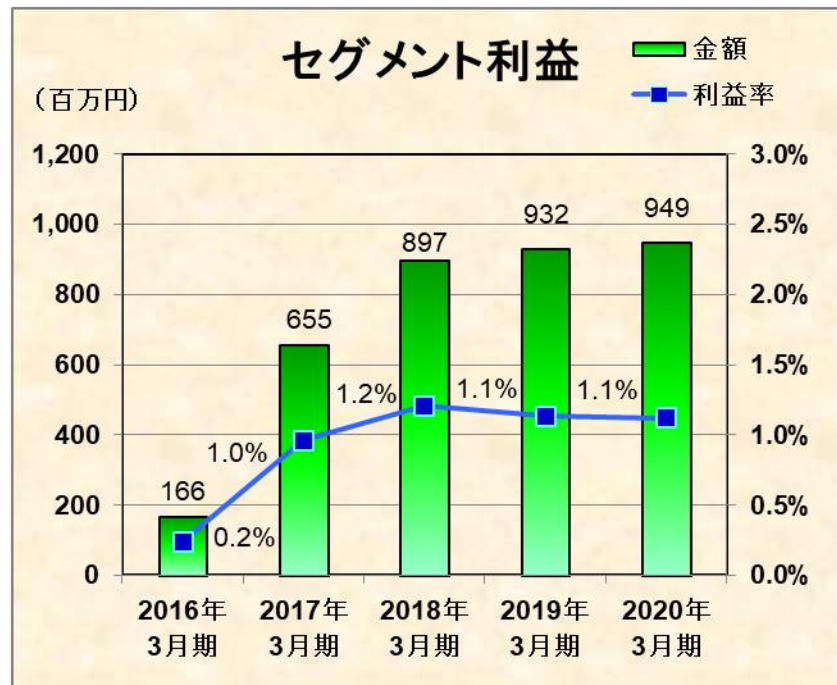
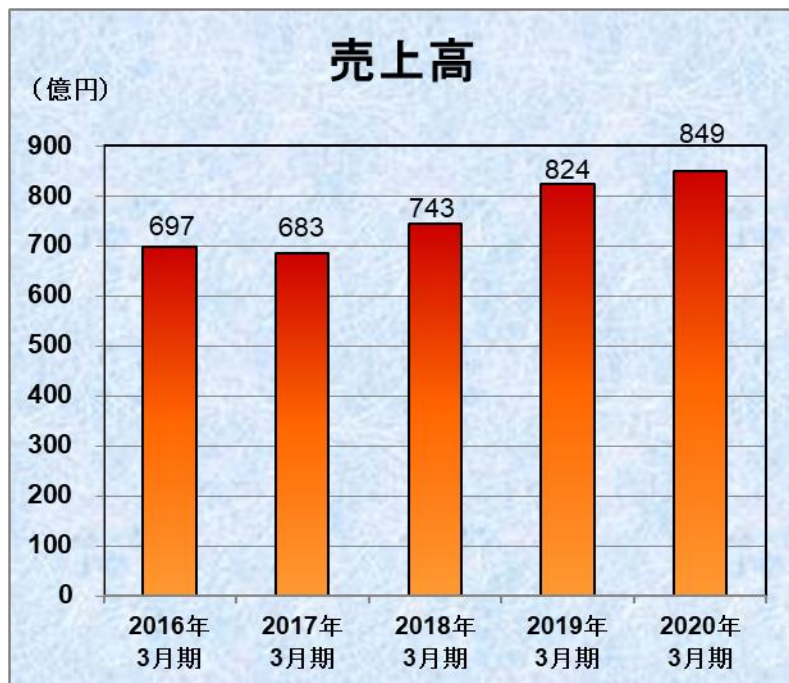
水産商事事業〈個別〉…魚種別売上重量・単価推移

(単位:トン)

(単位:円/kg)



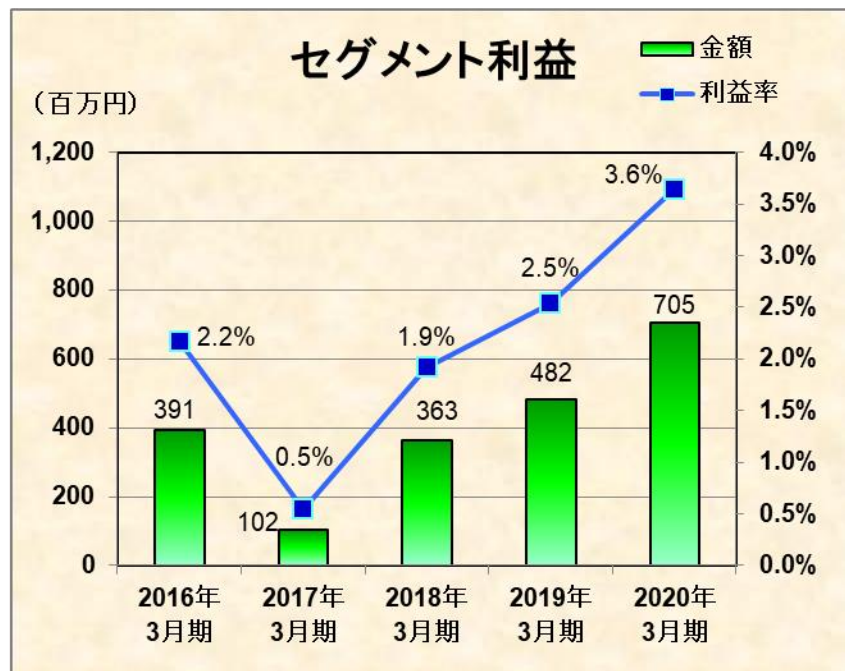
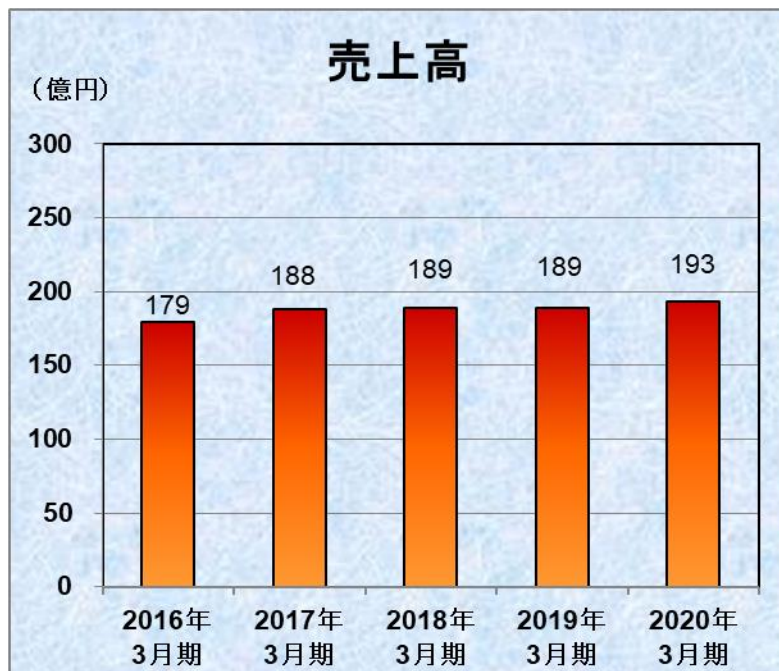
2. 冷凍食品事業<連結>…冷凍食品の加工及び販売



【当期の状況】

- 増収増益
 - 生食用商品や切身、煮魚、焼き魚などの加熱用商品を拡販
 - カニ風味カマボコや水産フライ類の販売が伸長
 - 家庭用冷凍食品では米飯類や煮魚などアイテムの多様化に注力

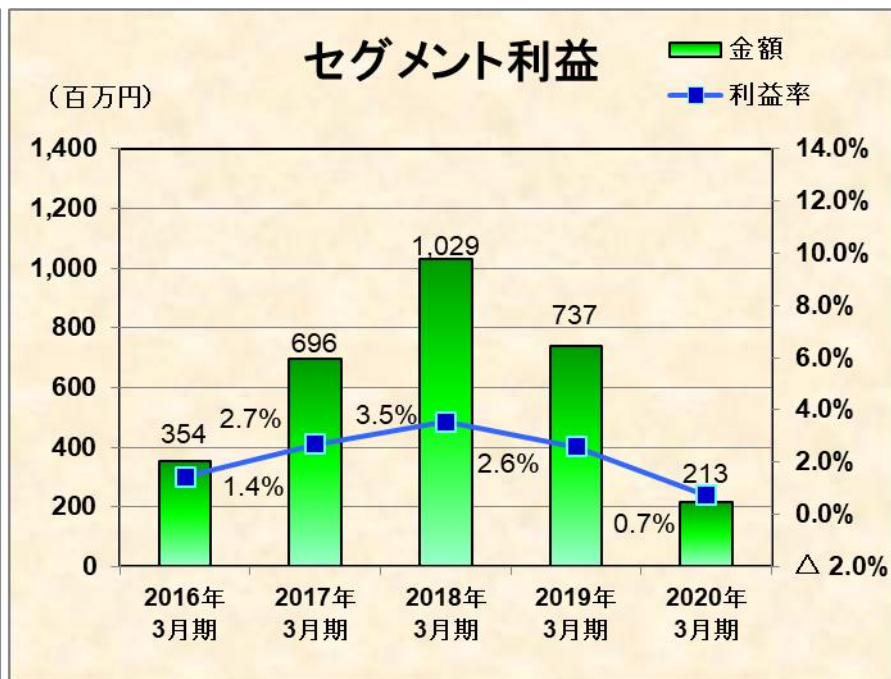
3. 常温食品事業<連結>…缶詰・珍味製品他の加工及び販売



【当期の状況】

- 増収増益
 - イワシ缶、サンマ缶、カツオ缶の販売が伸長
 - 珍味製品はコストアップ対策や新製品の投入により販売が堅調に推移

4. 鰹・鮪事業〈連結〉…海外まき網事業・養殖事業・鰹鮪加工販売事業



【当期の状況】 □ 増収減益

- 《海外まき網事業》 ➤ 経費節減効果が見られたものの、水揚げ数量が減少し、魚価が大幅に下落
- 《養殖事業》 ➤ クロマグロ出荷魚の大型化を進め、販売が伸長
- 《加工販売事業》 ➤ 本鮪原料やネギトロ製品、カツオ加工品の販売が伸長

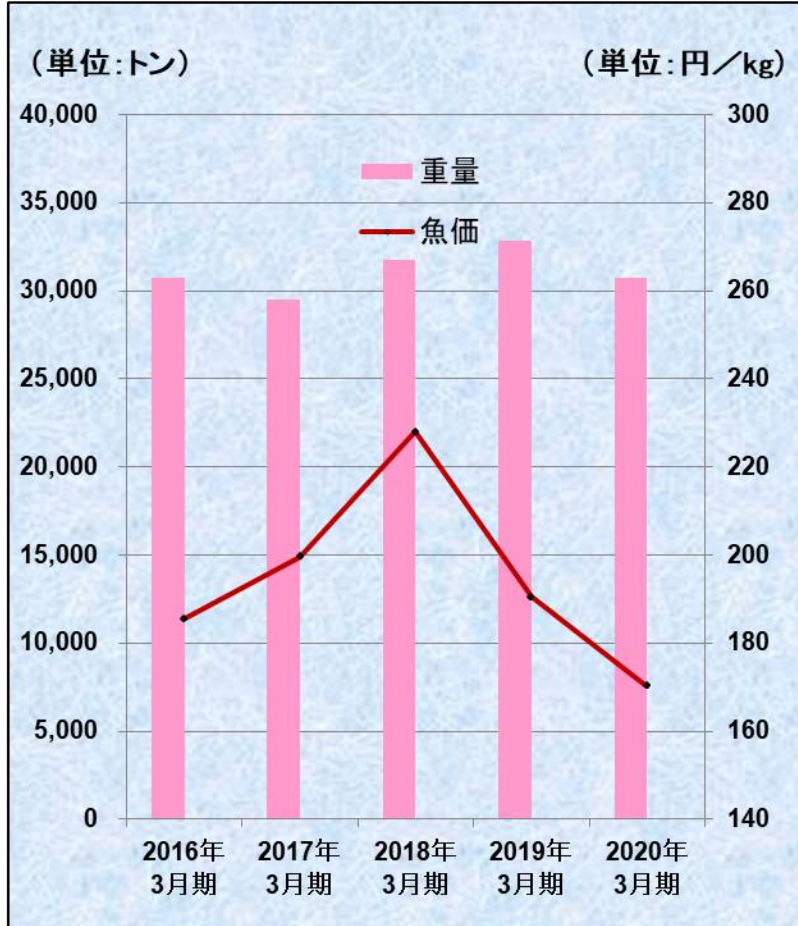


事業セグメント別の状況



鯉・鮪事業

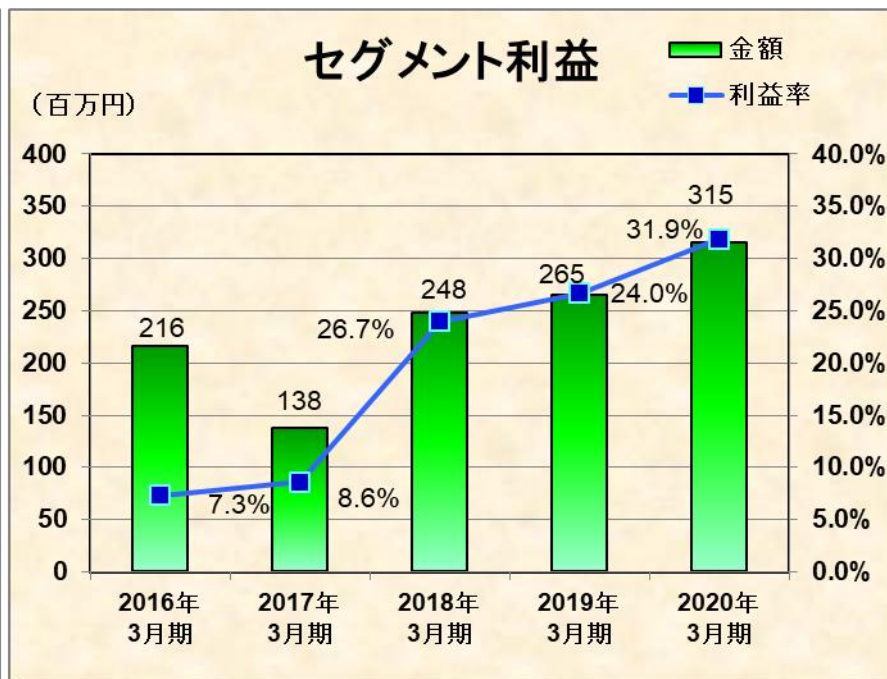
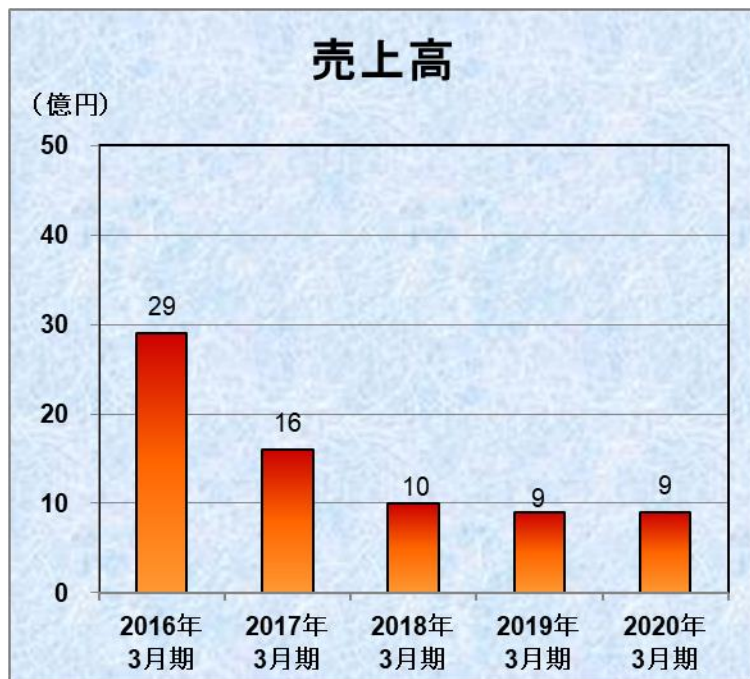
〈海外まき網事業〉…水揚げ推移



〈養殖事業〉…売上推移



5. 物流サービス事業<連結>…冷蔵倉庫事業



【当期の状況】

- 減収増益
 - 冷蔵倉庫事業は在庫貨物の確保を図り、配送事業を強化
 - 配送事業の強化に努め、サービスの向上を推進

※2017年3月期までは冷蔵運搬船事業を含む



2021年3月期 施策及び業績予想



事業セグメント別の施策



➤ 2021年3月期の事業セグメント別施策

【水産商事セグメント】

- 質の高い水産物の安定的な供給
- 高付加価値商品の開発
- 国内・海外の販売ルート強化と開拓

【冷凍食品セグメント】

- 直系工場製品や畜肉、冷凍野菜など、注力商材の販売強化
- 健康・機能性・時短などのマーケットニーズを捉えた商品の開発
- 在庫管理の徹底や効率的配送による経費の削減

【常温食品セグメント】

- サバ・イワシなど水産缶詰の海外調達力を増強
- 注力取引先との取り組み強化による販売拡大

【鰹・鮪セグメント】

- 養殖事業の収益安定化
- 輸入蓄養マグロの取り扱い拡大と末端直結の販売ルート構築
- 海外まき網原料の活用による新製品の開発

【物流サービスセグメント】

- 極洋グループの在庫を核とした庫腹率の向上
- ロジスティクス事業との協業と配送事業の拡大



業績予想



➤ 連結業績予想

(単位:百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	前期比		中期経営計画 最終年度目標
			増減金額	増減比率	
売上高	262,519	270,000	7,480	2.8%	300,000
営業利益 (営業利益率)	2,918 (1.1%)	4,200 (1.6%)	1,281	43.9%	6,000
経常利益 (経常利益率)	3,608 (1.4%)	4,500 (1.7%)	891	24.7%	6,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,037	3,000	962	47.3%	—

※ わが国経済は新型コロナウイルス感染症の影響から、景気の更なる下振れリスクが懸念され、水産・食品業界にとっても厳しい環境が予想されます。そのため、次期の業績予想は、これまで顕在化している業績への影響を考慮しており、中期経営計画の最終年度（2021年3月期）の業績目標から修正いたしました。

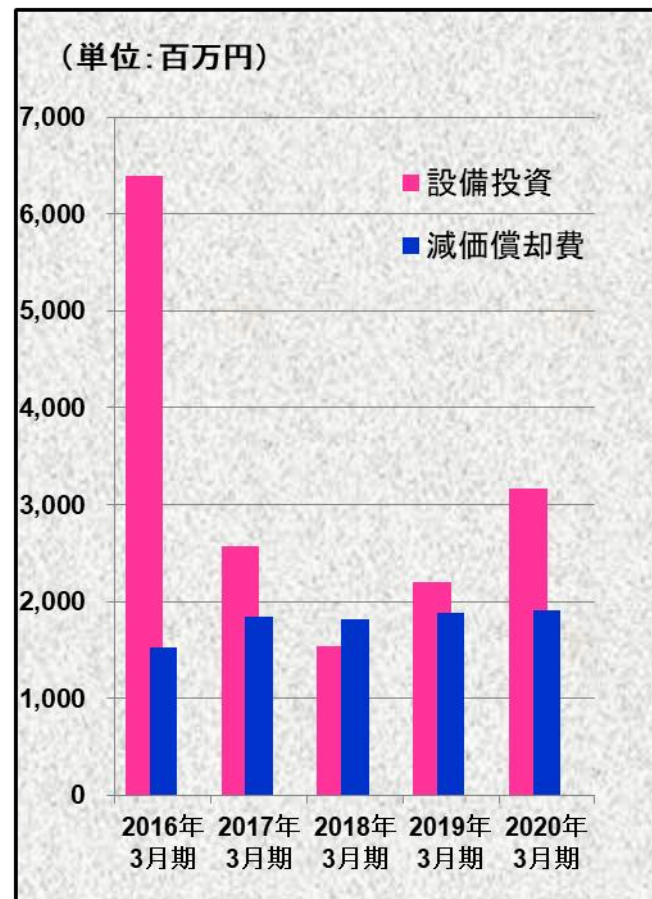
次期の業績予想は、現在の事業環境が概ね2020年6月頃まで続くことを前提としており、今後の推移等により、予想の修正が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

設備投資及び減価償却費

➤ 2021年3月期 設備投資計画

	概要	2020年3月期 実績	2021年3月期 計画
極 洋	生産工場関連	1億円	2億円
	研究所関連	0億円	1億円
	養殖事業海上	1億円	1億円
	IT関連その他	2億円	3億円
	計	4億円	7億円
関係会社	生産工場関連	24億円	23億円
	まき網事業関連	1億円	1億円
	養殖事業海上	1億円	1億円
	IT関連その他	1億円	4億円
	計	27億円	29億円
合計		31億円	36億円

➤ 設備投資・減価償却費推移





本資料は、2020年3月末までの業績及び今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的として作成しており、必ずしも投資をお勧めするものではありません。

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

したがって、実際の業績は、様々な要因により、これらの予想と異なることがありますのでご承知おきください。

当資料に対する問い合わせ窓口

株式会社 極 洋 企画部 電話03-5545-0703

本資料は株式会社極洋が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属します。複写及び無断転載はご遠慮ください。